



Weekly Report

第2204回例会 2017年12月20日 国際ロータリー第2580地区

2017~18年度R/会長 イアン H. S. ライズリー 2580地区ガバナー 青田 雅俊

武蔵村山RC
第46代クラブ会長
波多野 晃夫

東京武蔵村山RC テーマ

「共に学び、そして実践しよう」

本日の例会

2017~18年度RIテーマ

次回の例会

クリスマス会



ロータリー:
変化をもたらす

全員クラブ協議会

【第2203回例会週報】2017年12月13日(水)

司会 原田 友義 SAA会場運営委員

点鐘 波多野 晃夫 会長

会務報告 波多野 晃夫 会長

斉唱

「奉仕の理想」
ソングリーダー
見延 壽昭 会員



~比留間市郎会員 挨拶~



入院中、心配をおかけしました。
今年4月から、災害医療センターに入院し、3回の手術をしました。先月退院しました。皆さんには、大変ご心配をおかけしました。

来客紹介

○柳川 研一 様
(武蔵村山市地域包括支援センター西部地域センター長・卓話講師)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
35名	26名	81.82%	なし

○事前メイクアップ
比留間 孝司 会員 (地区米山)

○出席免除会員
宮崎 恒夫 会員 波多野 稔 会員



- バギオ基金より「2016年事業報告書及び基金への寄付のお願い」が届いています。
- 地区プロジェクト(2018-19年度)
 - ・候補として財団本部へ申請決定
 - ・最終結果は2018年5月~6月頃 (プロジェクトを開始せず待ちましょう!!)
- ハイライトよねやま 213を頂きました。
- 青梅市梅の里の件について資料が届きました。
- 第4回多摩分区連絡会報告
 - ・12月8日「掬水亭」(ホストクラブ東村山RC) 出席者: 会長、幹事、地区委員の宮崎茂夫会員、比留間孝司会員、事務局佐川さん

報告事項

- ・ガバナー補佐挨拶、報告
- ・各クラブの情報交換
- 福生クラブ出席率
10月=91.25% 11月=93.23%
- ・地区委員の報告
- 国際奉仕委員会
トロント国際大会の案内。6/24
- バギオ基金
バギオ訪問交流の旅は、満杯になった。
- 青少年交換委員会
クリスマス会 12/24開催
次年度受入れは東大和RCにお願いしたい
- ロータリー財団委員会
宮崎委員から、多摩分区各クラブの寄付状況報告 武蔵村山RCと東村山RCが0円
- 次年度地区補助金プロジェクトは青梅RCと武蔵村山RCが申請
- 地区資金推進委員会
全てのクラブへ寄付実行の勧め
- 米山奨学委員会
次年度に向けて事業が進められている。
米山奨学会への寄付もよろしく
- 協議事項
 - ・植樹の件(青梅市梅林)



- 例会臨時変更
 - ・福生 R C
 - 12月27日 休会
 - 1月3日 休会
 - 2月21日 地区大会に振替
- 分区連絡会より
H30.1.27東京東大和 R C 主催講演会開催の件
- IM報告
3 R C 3月14日開催予定
- クラブ名称変更アンケートの件
提出をお願いします。

委員会報告

- 職業奉仕委員会 田中 伸彦 委員長
 - ・会員プロフィール集作成の件
提出をお願いします。現在3名は提出済です。
来年早々の配布となります。
- 親睦委員会 酒寄 好夫 副委員長
 - ・12/20(水)クリスマス会の件
バスで行く方は、17:00 りそな銀行駐車場
集合。その際、車を停める場所は手前側
をお願いします。
- クラブ会報委員会 篠原 幸宏 会員
 - ・2202会報の訂正
委員会報告2項目(親睦委員会)新年会の予
定。
正しくは1/17(水)平成の間に於いて開催
です。



ニコニコBOX (荒井 孝育 親睦委員)

波多野晃夫会長・新海正人幹事 柳川研一様 本日はよろしくお願ひ致します。
比留間市郎会員 私の誕生日、結婚記念日を祝って頂きありがとうございます。
宮崎茂夫会員 武蔵村山市西部地域包括支援センター センター長 柳川研一様ようこそいらっしやいました。本日の卓話よろしくお願ひいたします。
野島征会員 本年も残り3週間足らずとなりました。皆様お体気を付けて下さい。本日は御多忙のところ柳川様には、これからの介護の問題様々お話しを伺います。よろしくお願ひ致します。

今回計 20,000円 累計 625,000円



「知って得する介護サービス」
柳川 研一 様

武蔵村山市地域包括支援センター西部地域センター長

(講師紹介 宮崎茂夫会員)
介護の実際を知ることが大事です！本日は、市内4ヶ所ある地域包括支援センターの一つである西部地区地域包括支援センターより柳川研一センター長に「介護保険と高齢者福祉サービスについて」卓話をいただきます。

地域包括支援センターとは、武蔵村山市から委託された介護サービスの拠点であり、西部地区は「伊奈平苑」にあります。スタッフには社会福祉士、ケアマネージャー、保健師などがいて高齢者や家族などからの介護福祉相談や支援を行っています。
介護保険制度は少子高齢化対策の対応を目的に、社会保険制度の一環として平成12年にスタートしました。予防と安心で暮らしを支える制度です。また、高齢者の暮らしを社会みんなで支える仕組みでもあり、40歳以上の方が加入し、納める保険料や税金を財源に介護が必要な方は、費用の一部を負担するだけでさまざまな介護サービスが受けられます。
認知症が社会問題化しています。介護の面でもこの対応は大変で、介護度も高いサービスとなっています。サービスを受けるには申請して要介護認定を受ける必要があります。1ヶ月程度かかります。
サービス内容は代表的なもので、訪問介護(日常生活の手助けなど)や通所介護(デイサービス)、短期入所生活介護(ショートステイ)など選択できるようになっています。
また、生活環境を整えるサービスとして、居宅介護住宅改修制度による費用の助成や福祉用具の貸与などのサービスもあります。
本年4月から介護予防・日常生活支援事業がはじまりました。高齢者の介護予防と自立した生活の支援を目的とした制度で、予防することで余計な医療費を減らしていこうという考えのもと、地域のニーズや実情に応じた多様なサービスの提供が期待されています。
本日は時間の都合で十分な説明ができませんでしたが、お配りした冊子をご一読され、より介護保険を理解していただきたい。

(波多野晃夫会長より御礼)
「知って得する介護サービス」の卓話ありがとうございました。我々も年齢的には、だんだんに介護を必要とする年代にさしかかっています。有益なお話したいへん参考になりました。

